

ゆくはしそえだ たていしとうげ
主要地方道行橋添田線(立石峠工区)
【田川郡赤村～田川郡大任町】

1.事業概要

1)路線の概要

主要地方道行橋添田線は、福岡県行橋市門樋町の主要地方道直方行橋線を起点とし、京都郡みやこ町、田川郡赤村、田川郡大任町を経て、田川郡添田町大字添田の主要地方道八女香春線に至る延長約33kmの主要な幹線道路である。田川地域と東九州自動車道今川スマートICを結ぶ田川地域の地域振興に寄与する道路であり、災害時の救援・救護活動や人員・物資輸送のための緊急輸送道路2次ネットワークに指定されている。

2)事業の必要性

- ①本区間は、峠部において線形不良箇所が多く存在するため、大型車等の通行に支障をきたすなど、幹線道路としての機能が十分に発揮できていない。また、道路の線形不良が原因と想定される衝突事故、追突事故が過去10年間(H20～H29)で、7件発生している。【道路線形不良箇所：最小曲線半径 R=16m(R60m未満：5カ所)】【峠部における死傷事故：車両相互6件、人対車両1件】
- ②本路線は、緊急輸送道路2次ネットワークとして位置づけられているが、峠部において降雨時には崩土が発生するなど、災害に対して脆弱な道路である。【通行規制発生状況：全面通行止連続14日間(H30)、立石峠法面崩落による片側交互通行200日間(H28)】また、本区間の起点側は、法指定通学路に指定されているにもかかわらず、歩道がなく危険な状況であるため、児童を含む歩行者の安全な通行空間の確保が必要である。
- ③本路線周辺には、田川地域の主要な観光産業である「道の駅おおとう桜街道」(大任町)や「源じいの森」(赤村)、国重要文化財「中島家住宅」(添田町)など多くの観光施設があり、当該地域の更なる観光振興のためアクセス道路の整備が必要である。【平成29年観光入込客数：道の駅おおとう桜街道 約79万人、源じいの森 約18万人】

3)事業に期待される効果

主要地方道行橋添田線(立石峠工区)の整備により、以下の効果が期待される。

- ①(道路ネットワークの強化)
 走行性や安全性が改善され、東九州自動車道今川スマートICへのアクセスが向上し、道路ネットワークの強化が図られる。
- ②(防災機能の強化、安全性の向上)
 峠をトンネル化することで災害に強い道路となるため、緊急輸送道路ネットワークの機能向上が図られる。また、通学路となっている現道拡幅部においては、歩道の設置により歩車分離がはかられ、児童の安全・安心の確保に寄与するとともに、バイパス部においては、バイパスに交通が転換するため、現道の安全性が向上する。
- ③(観光地へのアクセス向上による地域振興の支援)
 各観光施設へのアクセスが向上し、特に「道の駅おおとう桜街道」を観光拠点として、観光交流による人の流れを作り出し、移住・定住につなげることを打ち出している「大任町人口ビジョン・大任町まち・ひと・しごと創世総合戦略」(H28.1)を支援することができ、当該地域の観光の活性化による地域振興に寄与する。

2.現道の状況

現況幅員：W=6.0(7.0)m
 現況交通量(車線数)：5,328台/日(2車線)(大型車混入率5.8%) [R1.11.3実測]

3.計画内容

事業箇所：福岡県田川郡赤村大字赤～田川郡大任町大字大任町
 延長・幅員・設計速度：L=1,330m(トンネルを含む) 現道拡幅部 W=6.0(10.5)m
 バイパス部W=6.0(8.0)m、6.0(9.5)m(第3種第3級山地部) V=40km/h

全体事業費：C=1,860百万円
 事業着手年度：令和2年度
 事業完成予定年度：令和11年度
 計画交通量(車線数)：4,100台/日(2車線)(R12年推計)
 費用便益比(B/C)：1.16

4.その他特記事項

陳情書・要望書：平成17年 2月 7日 要望書 大任町柿原区から提出
 平成29年 2月27日 要望書 大任町、赤村から提出
 令和 1年12月23日 要望書 赤村から提出
 令和 2年01月 6日 要望書 大任町から提出

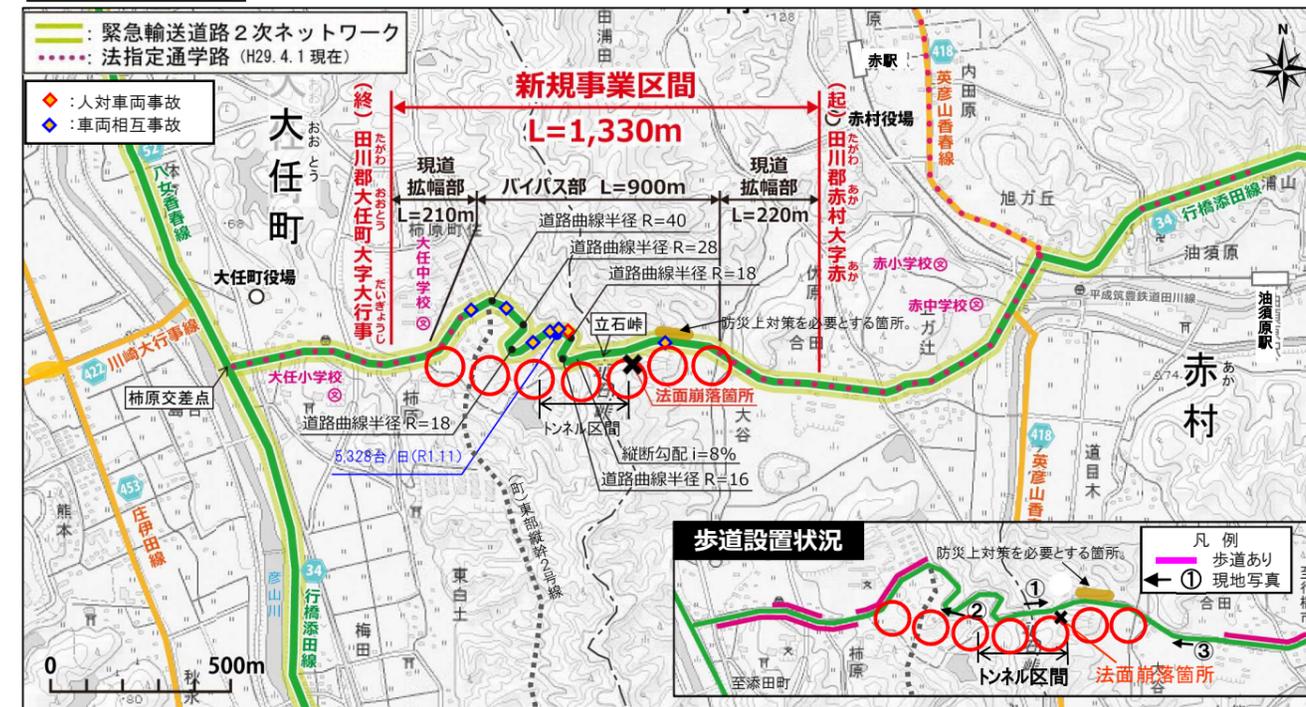
【位置図】



【対象区間周辺図】



【新規事業区間図】



【横断面図】



【現状写真】

